



3年学年だより

発行日：平成 31 年 1 月 31 日（木）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 9

新しい年を迎えて

校長 磯部 修一

2019 年 10 月に港南区は区制 50 周年を迎えます。この 50 周年のテーマは「愛あふれる[♥]ふるさと港南に」です。あいさつのあい、知りあいのあい、助けあいのあい、見守りあいのあい、愛（あい）がたくさんある港南区にしていきたいという願いを込めて様々なイベントが計画されています。本校は 11 月 2 日（土）港南中学校で開催される区内中学生による文化祭に演劇部が参加する予定です。港南区内の市立学校の一つである本校も地域の学校としてこの節目の年を祝い、まちとの「つながり」を深めていきます。毎日通っている学校がある地域に私たちはいろいろな場面でお世話になっています。



愛あふれる[♥]
ふるさと港南に

学校が過ごしやすい、楽しいということの土台には地域の環境が大きく影響しています。本校の特色の一つである総合的な学習の時間、EGG のテーマ「世界を幸せにする第一歩」を身近な地域から踏み出したいものです。

区から市に目を向けると、今年は横浜開港 160 周年を迎えます。9 月にはラグビーワールドカップ 2019TMが開幕し、決勝戦など 7 試合が横浜で行われる予定です。また、今年は戦後初めて市の人口が減少に転じることも見込まれています。学校教育に関わる動きとしては、昨年 12 月に「第 3 期横浜市教育振興基本計画」が策定されました。これから 2022 年までの学校教育をすすめる一つの拠り所となるものです。この計画の策定・推進には二つの基本姿勢があり、その一つは「持続可能な学校への変革」です。その具体の一番に挙げられているものは、「SDGs との関係性を意識した教育活動の展開」です。

2021 年が中学校の新学習指導要領全面実施の年です。本校では、持続可能な社会の実現に向けて行動する力を育成するために、SDGs と関連付けながら ESD を推進していくことができるよう今年から準備を進めます。本年もよろしくお願いいたします。

【ESD について】

ESD は Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。 文部科学省 HP より

【SDGs について】

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) には、2016 年から 2030 年の 15 年間に、国際社会が取り組むべき 17 の目標が掲げられています。「先進国も達成に努めるべき世界共通の目標」、「私たちの世界をよりよくするためのみんなの目標」です。 「Sustainable Development Goals (SDGs) 「持続可能な開発目標」を伝える先生のためのガイド」 unicef より

卒業論文 執筆中

3年間のEGGの集大成である卒業論文の提出日が近づいています。みなさん執筆は進んでいますか？論文提出期限までのEGGの授業はもうありません。あとは、適性検査・高校入試に伴う休業日を利用して、それぞれ自分のペースで卒業論文を執筆し、完成させてください。卒業論文はA4サイズで20ページ以上です。提出方法や注釈・参考文献のつけ方などの不安なことはきちんと確認してから、適性検査・高校入試に伴う休業日を迎えましょう。

卒業論文提出日は2月18日。みなさんが晴れやかな顔で、卒業論文を携えて登校して来ることを期待しています。5期生の底力を発揮してください。



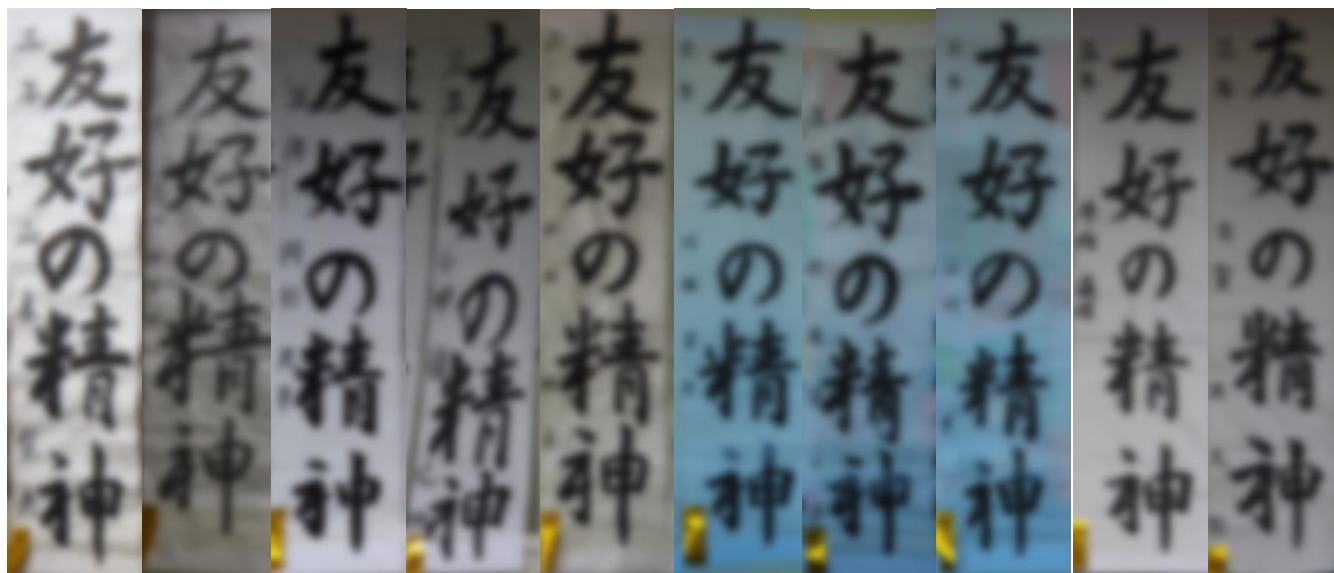
校内書初め展 開催

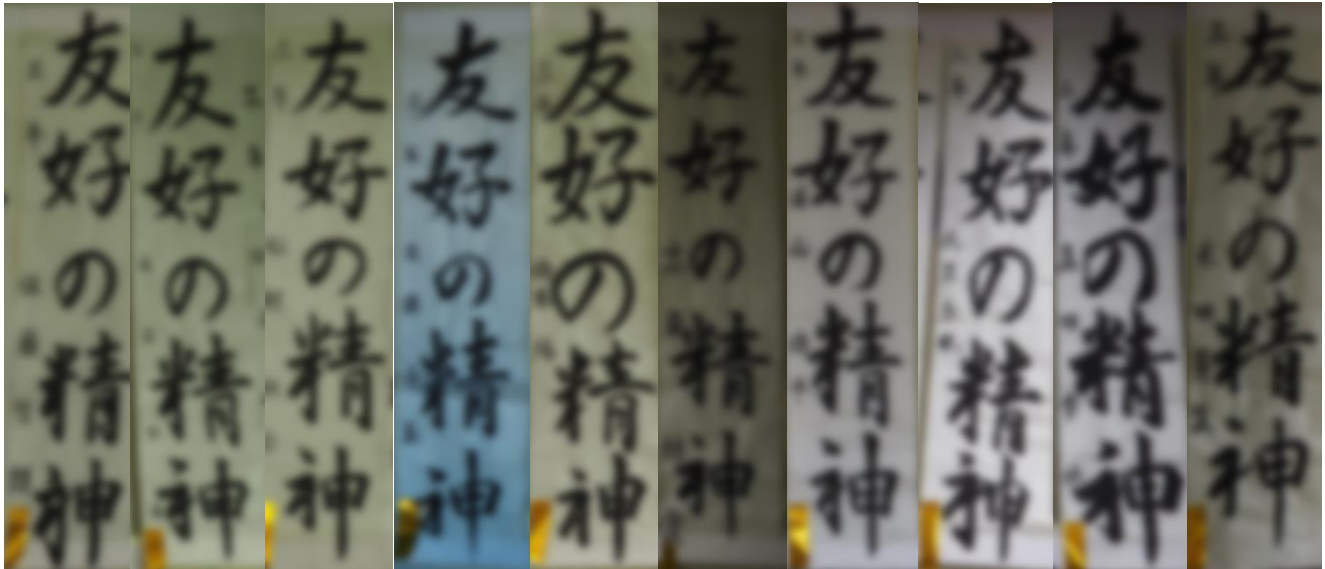
←見出しは、■さんが書いてくれました！！

今年度も校内書初め展が開催されました。今年度の書初め作品は、中学3年間の書写毛筆学習のまとめとなりました。筆脈、丸筆の柔らかさ、余白の美しさ、全体のバランスなど書写作品としての学習課題はもちろんのこと、今回は「友好の精神」という題字の持つ意味そのものについても考えて取り組みました。南高附属中学校で出会って3年間をともに過ごしてきた仲間への感謝の気持ち、4月から南高校66期生として新しく共に学んでいく仲間を迎え入れる気持ちなどにも思いをめぐらしました。

この書初め作品を最後に、この先毛筆を持つ場面は少なくなるかもしれません。それでもここまで書けるようになった腕と新年に抱いた思いをずっと大切にしてほしいと思います。

中学校国語科の先生方全員で審査を行い、金賞を決定しました。4組■さんの作品は、横浜市総合文化祭にも出展しました。また、今年度は高校書道部の先輩方が中学生と同じ書初め課題に取り組んで、書道室前に掲示してくださったり、教室に並んだ中学全学年の作品を鑑賞し、いくつかの作品にコメントを書いてくださったりしました。





金賞

- 1組 [redacted]さん [redacted]さん [redacted]さん
- [redacted]さん [redacted]さん
- 2組 [redacted]さん [redacted]さん [redacted]さん
- [redacted]さん [redacted]さん
- 3組 [redacted]さん [redacted]さん [redacted]さん
- [redacted]さん [redacted]さん
- 4組 [redacted]さん [redacted]さん [redacted]さん
- [redacted]さん [redacted]さん



横浜市総合文化祭出品

4組 [redacted]さん

中学生徒会ドッチビー交流会

一昨年度から始まった生徒会企画のスポーツ交流会が、今年も開催されました。今年度は、競技がドッチビーとなり、きょうだい級で縦割りのチームを組んで共通の応援歌を用意して試合に臨むなど、各委員長さんや学級委員さんが中心となって何度も話し合い自分たちの手で改善を重ねて作り上げた、新しい生徒会企画となりました。全校生徒がグラウンドに集まって試合を応援するなか、最上級生として下級生をリードする5期生の姿は、とても頼もしく感じられました。附属中学校で築いた他学年との繋がりを、高校進学後も継続して大切にできる5期生であってほしいと思います。

